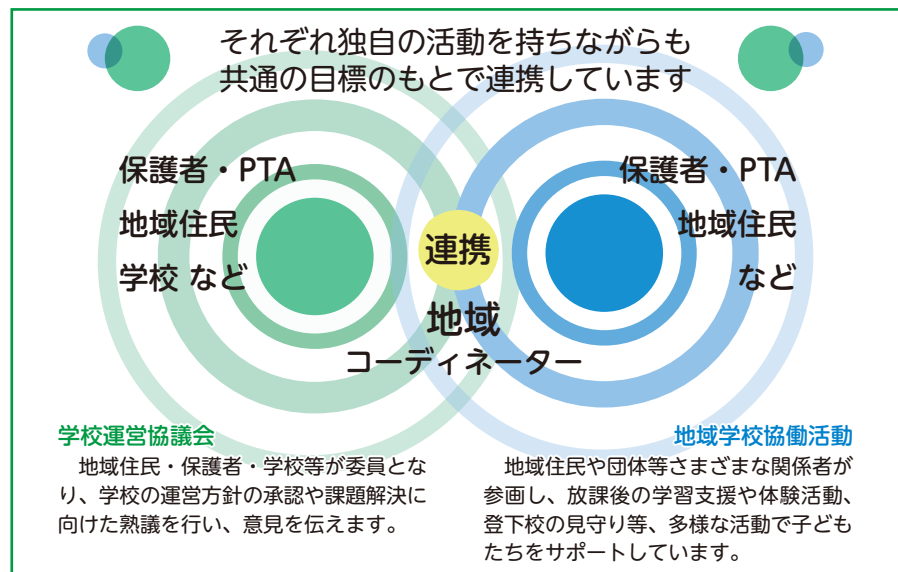


小金井の わくわく

新しいカタチ

コミュニティ・スクールの内容は地域や学校の実情にあわせてさまざまな形で作られます。

その中で、小金井第一中学校と本町小学校で実施された取り組みをご紹介します。



事例1 「生徒の声を直接聞く」

(小金井第一中学校)



学校運営協議会と生徒が直接対話する 「CS懇談会」

小金井第一中学校では、CS懇談会（CS＝コミュニティ・スクール）を開催しています。

学校の運営方針や活動について大人が一方向的に決めるのではなく、生徒の意見を聞いて反映させることを目的としています。また、生徒も自分たちの取り組みを地域の方に知ってもらう貴重な機会となっています。



生徒会長 堀さん

大人と生徒の意見交換
でより良い学校生活を
めざします！

CS懇談会で、設備面など学校生活で気になっていることを大人に直接伝えることができ、実際に改善につながることもあるので、非常に有意義な機会だと感じています。

また、生徒会の企画を話すことで、自分たちでは気付かなかった視点や新たな方法を提案してもらうこともあり、生徒会活動の充実にもつながっています。CS懇談会で得た経験を活かし、これからは校内だけでなく、地域全体にも活動を広げていきたいです。

事例2 「学校運営協議会から生まれた活動」

(本町小学校)



大学生と一緒に「やりたい」を実現 「チャレンジ部」

本町小学校では、学校運営協議会から生まれた活動として「本町っ子チャレンジ部」を開催しています。子どもたちの「こんなことがしたい！やってみたい！」という思いに、東京学芸大学の学生が中心となり、放課後子ども教室の場を活用して、一緒に取り組み、実現していく探究・実践の活動です。

子どもも大人も自分の
ワクワクに正直に！
全力で楽しもう！



学校運営協議会長 田中さん

大学院生のころ、教授に声をかけられたのをきっかけに学校運営協議会の委員になりました。

チャレンジ部は、子どもの興味・関心のあることを探究する活動ですが、もちろん私たち大人も一緒に全力で取り組み、楽しんでいます。

本町小のコミュニティ・スクールは「子どものため」だけでなく、大人自身もやりたいことにチャレンジできる場。大学生をはじめ若い世代も地域の一員として、積極的に参画しています。